

魅力ある町づくりを 目指して

光町長 齊藤 讓

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。
輝かしい昭和六十三年の新春を健やかに迎えの事と存じます。

今年も皆様にとって稔り多き充実した年であり、そして又、

光町にとっても平和で躍進の一年となりますよう心からお祈り申し上げます。

ところで、昨年はペルシャ湾の緊張や南アフリカ、大韓両航空機の相つぐ墜落事故に象徴される如く、国際平和と、安全が厳しく問われる一方、米国経済の急落から天井知らずの円高進行や株価暴落により、国際金融市場は大荒れの状況を呈し、正に国際経済は危機的要因を孕みつつ、年を越す結果となっております。世界の人々が、これらの問題の解決に祈りにも似た期待を寄せるところであります。国内的には、中曽根内閣が退陣し、竹下内閣が誕生する政局の転換はあったものの比較的平穏な一年でありました。

しかし、上昇しつづける円高は、先の円高ショックからようやく立直りつつある日本経済に再び痛烈な打撃を与え、又、新たに都心を中心として発生した地価の暴騰は、地方都市へと波及

右から、教育長・助役・町長・収入役



また、町内の企業等に於ては、円高ショックを直接、間接に受けて低迷したり、隣接市町への大型店の進出によって、消費者が町外へ流れるなど厳しい局面が現れており、町内の経済活動は残念ながら停滞した状況にあるといわざるを得ません。更に

拡大し、深刻な社会経済問題を惹起しております。政府は、このような内外の諸情勢を背景に、いま財政再建と内需拡大という二律背反する命題に懸命に取り組んでいるところであります。わが光町も昨年は、地震による一部建物被害はあったにせよ、激動した前年とは比較にならぬほど穏やかな一年であったと思えます。

しかし、農家は水田転作率二十パーセント、二百五十一ヘクタールに及ぶ水田転換を未曾有の米価値下げという極めて厳しい条件下に於て目標達成したところであり、農家経済の受け痛みは察するに余りあるところでありました。

また、併せて母子、桑郷間の横断橋や、海岸道路を予定通り明年三月までに完成すべく全力を注ぎ、産業活動の基盤づくり

当町の場合、老齢化が著しく進行していることも経済の活性化を欠く大きな要因となっていることも見逃せない重要な問題であります。

を急ぎたいと考えております。産業の活性化こそが、若年層を定着させ、老齢化に歯止めをかける唯一最良の手段であると感じ、これらの事業と併せて農業、商工業等の振興策を、そこで真剣に生きようとする人々と協調しながら積極的に展開したいと考えております。

青少年の健全育成は、いかなる時代を迎えようと不変の課題であり、一瞬たりとも手を抜いてはならない問題であります。自主、独立の進取に富む人格陶冶の教育を関係者の総力を挙げて推進してゆかなければならぬと思っています。